科目名	ホテル管	年度	2025						
英語科目名	Hotel Management System 3								後期
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	浅野 聡司			実務経験	有実務経験の職種			ホテルス	スタッフ

【科目の目的】

この科目の目的は、ホテル管理システム2の復習と応用編となり、ホテルのフロント業務において必要な基礎知識からシステム操作までのスキルを学び、お客様のチェックインからチェックアウトまでの各種フロント業務に対応できるような能力を身につけることです。学生はホテルのフロント業務を実際に遂行する際に必要なスキルを習得します。

【科目の概要】

この科目では、ホテルのフロント業務において使用される管理システムの操作に焦点を当てて学習します。お客様の チェックインからチェックアウトまでの流れを学び、システムを活用したスムーズな業務遂行に必要なスキルを養いま す。また、ホテル管理システム2では料飲システムに関しても学習します。仕組み及び操作方法についてもスキルを養いま す。

【到達目標】

フロント業務の包括的理解と実施能力 システム操作と業務フローの把握能力 顧客との円滑なコミュニケーションスキル チェックインとチェックアウトの対応力 問題解決能力と状況対応力□

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時間4分の3以上出席しない 場合は成績評価ができないので注意すること。

評価基準=ルーブリック											
ルーブリック	レベル 5	レベル 4	レベル3	レベル2	レベル 1						
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力						
到達目標 A		に関する幅広い知識と高い	に関する基本的な知識と実	ホテルのフロント業務の一 部に関する知識と実践力が 限定的である							
到達目標 B		と業務フローを把握し、効	と業務フローを一部把握	ホテル管理システムの操作 や業務フローの把握が限定 的であり、誤りがある							
到達目標 C	顧客とのコミュニケーショ ンにおいて高度なスキルを 発揮し、信頼感を築く	顧客とのコミュニケーショ ンにおいて効果的なスキル を持ち、信頼感を得ること ができる	ンにおいて基本的なスキル		顧客とのコミュニケーションが不十分であり、信頼感を築くことが困難である						
到達目標 D	お客様のチェックインと チェックアウト手続きをス ムーズに実施できる	チェックアウト手続きを正	お客様のチェックインと チェックアウト手続きを一 部実施できる	チェックインやチェックア ウト手続きの実施が限定的 であり、誤りがある							
到達目標 E	レストランシステムの操作 と業務フローを把握し、ス ムーズに実践できる		と業務フローを一部把握	レストランシステムの操作 と業務フローの把握が限定 的であり、誤りがある	レストランシステムの操作 と業務フローの把握が不十 分であり、実践が難しい						

【教科書】

【参考資料】

オリジナルテキスト

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 40% 授業内容の理解度を確認するために実施する 平常点 60% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※ ₹		、演習のいずれかを	記入			,		
科目名				ホテル管理システム3 年)25
	英語表記	E e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		Hotel Management System 3 学				り期
回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	
ホテルフロント業務		1	前回学んだ内容の復習	前回学んだ知識の復習				
1	1 の復習と導入 (ホテ ル管理システム2の復	前回学んだホテルフロント 業務の復習と新たなシステム操作の導入	2	新しいシステム操作の導入	新しいシステム操作の基本理解	解		
	習と応用)		3					
Ì	顧客情報の詳細管理		1	顧客の嗜好や要望の管理	顧客情報の詳細な管理方法の理解			
2	(ホテル管理システム2の復習と応用)	顧客情報の詳細管理方法の 学習	2	顧客データの活用			3	
			3					
	グループ予約と団体 対応(ホテル管理シ	ガル、プス処も団体対応の	1	グループ予約の手続き	グループ予約と団体対応の実践スキル			
3	対応(ホテル管理ン ステム2の復習と応 用)	グループ予約と団体対応の システム操作の習得	2	団体のチェックイン手順			3	
	/H)		3					
	予約変更とキャンセルの高度な操作(ホ		1	複数の予約の変更手続き	複雑な予約変更とキャンセルの実践スキル			
4	ルの高度な操作(ホ テル管理システム2の 復習と応用)		2	キャンセルの処理			3	
	復省と応用)		3					
	キャッシュレス(ホ		1	種類	キャッシュレス決済の種類			
5 テル管理システム2の 復習と応用)	キャッシュレス決済の仕組 み	2	キャッシュレスの仕組み	ホテルにとっての利点		3		
			3	キャッシュレスの仕組み	顧客にとっての利点			
	ダイナミックプライ		1	仕組み	ダイナミックプライシングの仕組み			
6 シング (ホテル管理 システム2の復習と応 用)	ダイナミックプライシング の仕組みと効果	2	効果	ダイナミックプライシングの効果		3		
	7117		3	Water to the second				
	チェックアウトの高	複雑なチェックアウトプロ セスのシステム操作の習得	1	複数の部屋のチェックアウ ト手順	複雑なチェックアウトプロセスの実践スキル		_	
7	度な操作(ホテル管 理システム2の復習と 応用)		2	請求書の作成			3	
	,2,4,		3					
	システムを用いたク レーム対応 (ホテル				システムを使ったクレーム対応の実践スキル			
8			2	問題解決のプロセス			3	
	C /L/11)		3	ンフニナの用農市総し払加				
	システムトラブル シューティング (ホ	ホテル管理システムのトラ ブルシューティング方法の 学習	1	システムの異常事態と対処法	システムトラブルの解決スキルの向上			
9 テル管理システム2の	テル管理システム2の 復習と応用)		2	エラーメッセージの解読			3	
			3	システムを使った業務の自	N/ 76 - No 1/1 - 177 / 17			-
フロント業務とシス テムの連携(ホテル 管理システム2の復習 と応用)	フロント業務とシステムの	1	動化	システムとフロント業務の連携スキルの習得		-		
	管理システム2の復習	連携を学び、効率的な業務を習得	2	効率的な操作方法			3	
			3	レストラン業務内容	レストラン業務内容確認			+
	料飲システム(ホテル管理システム2の復	レストラン業務とICT	2	業務のICT化	・・・・ノマ 本3万17 17 平底単位		3	
			3				-	
				並111277年)根佐の送す	新しいシステム操作の基本理解		 	+

12	コムシハノ へい ル管理システム2の復習と応用)	レストランシステム操作方 法	2	ハンディターミナル		3	
	H C /6/11/		3				
	料飲システム(ホテ		1	新しいシステム操作の導入	新しいシステム操作の基本理解と応用		
13	ル管理システム2の復習と応用)	レストランシステム操作方 法	2	ハンディターミナル		3	
	H C /6/11/		3	POS			
	割飾シフテル (十三			システム操作の応用	システムを使った実践スキルの習得		
	が成システム (ホアル管理システム2の復習と応用)	レストランシステム操作方 法	2	ハンディターミナル		3	
	自て心用)		3	POS			
			1	授業の振り返り	学んだ知識とスキルの振り返りと今後の展望		
15	授業の振り返り	知識とスキルの習得を確認	2			3	
			3				

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等